



指針の改訂と併せて事業を見直しました

リニューアル

協働のまちづくりアカデミー開講事業

協働の担い手を育成、輩出することを目的として開講している「協働のまちづくりアカデミー」。これまで100人を超える修了生を輩出し、それぞれの地域で活躍しています。

現在、修了生の皆さんがつながり、魅力あるアカデミーカリキュラムへの見直しや、協働の担い

手が相互に「知る」「交流する」「つながる」きっかけを作ろうと、自分たちの「思い」や「アイデア」を持ち寄り、実現に向けた検討を進めています。

3年度からは、修了生の皆さんの熱い思いを「かたち」にした「協働のまちづくりアカデミー」として開講します。

リニューアル

市民提案型協働支援事業補助金制度

市では、地域課題の解決のために協働の担い手実践する事業に対し、補助金を交付しています。今回、協働の担い手の組織や地域の垣根を超えたネットワークづくり、『つながる』取り組みをさら

に応援するために、制度内容を見直しました。3年度分の募集は、4月上旬からの開始を予定しています。詳しい内容は広報おうしゅうお知らせ版3月号に掲載する予定です。

コース	補助率	補助上限額	補助回数
チャレンジ	10 / 10 以内	5万円	2回まで
ステップアップ	3 / 4 以内	30万円	3回まで
コラボレーション	4 / 5 以内	30万円	制限なし

※見直し箇所は「赤字」です

3 団体活動に役立つ情報はフェイスブックでチェック
団体の活動状況や助成金、各種セミナーの情報を「奥州市地域づくり推進課」フェイスブックで発信しています。最新情報をお届けしていますので、ぜひご覧ください。

フェイスブック▼



2 市民活動支援コーディネーターの活用を
奥州市市民活動支援センターに配置している市民活動支援コーディネーターは、団体活動をステップアップするお手伝いをしています。団体の皆さんとしっかりとつながりながら、皆さんの活動が活性化するように、共に知恵を寄せ合います。ぜひお声掛けください。

1 市民活動支援センターに登録しませんか
地域づくり推進課内に設置している奥州市民活動支援センターでは、市民公益活動団体の活動をサポートしています。登録をすると、団体の活動紹介や活動に役立つ情報を掲載した情報誌「地域づくりの輪（いりりん）」や、団体活動の活性化につながる各種セミナーのチラシなどが届きます。市内で公益活動を行っている団体であればどの団体も登録可能です。ぜひご登録ください。

お知らせ



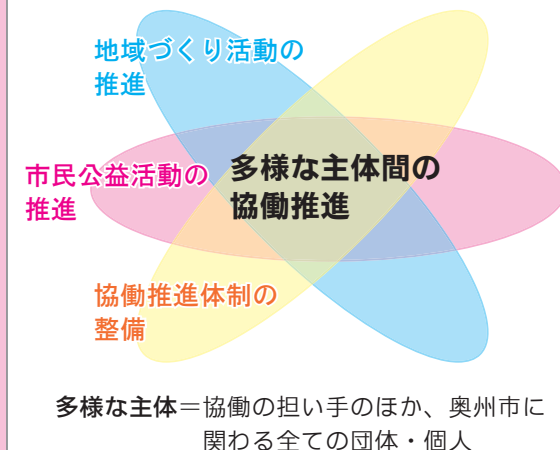
協働のまちづくりフォーラムに参加の皆さん

地区振興会をはじめとした地域づくり活動団体や、NPO法人などの市民公益活動団体といった協働の担い手と行政が同じ思いを持ちながら、共通の地域課題に取り組み、一つ一つ段階を踏んで進めてきた「協働によるまちづくり」。4月からは「第3ステージ」へと移行します。

第3ステージのキーワードは『つながる』。この言葉は、多様な協働の担い手の皆さんが、組織や地域の垣根を越えたネットワークづくりを目指すことを意味します。自立したそれぞれの組織がしっかりと『つながる』ことで、「活動の活性化」や「持続可能な活動」へと発展し、「協働によるまちづくりの推進」につなげていくとするものです。

協働のまちづくり指針<改訂版> 協働推進施策のイメージ図

協働の担い手に『つながる』意識を持ってもらうよう、4つのテーマで施策を展開



『つながる』団体が数多く生まれる

団体活動が自立的・主体的・計画的・持続的になる

協働によるまちづくりの推進

協働のまちづくり指針<改訂版>は、問い合わせ先または市ホームページでご覧いただけます

協働のまちづくり指針を改訂



協働の担い手活動の活性化と
持続可能な活動へとつなげるために

協働の第3ステージ キーワードは 『つながる』

と、『つながる』きっかけを増やしていく取り組みを盛り込み、市ではこれらを重点的に展開していきます。

■問い合わせ先 本庁地域づくり推進課（江刺総合支所）
☎ 34-1618

『つながる』！ 事例①

地域づくり活動団体 × 市民公益活動団体

地区内で初の「花火の打ち上げ」を目指す「稲瀬振興会」と「花火の打ち上げ」の経験を持つ「藤里ファイヤーワークス」とが『つながる』！ 実施に必要な許認可などクリアしなければならぬ事項が整理され、当日は円滑に、そして華やかに実施されました。（2年7月実施）



『つながる』！ 事例②

市民公益活動団体 × 地域づくり活動団体

地域とつながった活動を望む「奥州めぐみネット」と、地域の自然や歴史に触れながら地域課題を共有し、考える機会を創出したい「米里振興会」とが『つながる』！ 多くの地域住民の参加の下、地域の自然や歴史に触れながら、公共交通など地域の課題を考えるきっかけとなり、地域に根差した活動にもなりました。（2年9月実施）

